

ごあいさつ

皆さま方には、日頃より広島県信用組合に対しまして、格別のご愛顧を賜り誠にありがとうございます。

平成29年度上半期の国内経済は、雇用環境の改善など緩やかな回復基調が続いており、戦後のいざなぎ景気を超える長期の景気回復の可能性が高くなっております。あわせて、世界経済も回復が続いていますが、一方で、地政学リスクの高まりなどの不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような中、当組合は、第5次中期経営計画「新たなチャレンジ～選ばれるケンシンとなるために～」に基づき、堅実経営を主軸として、お客さま本位の諸施策に取り組んでおります。この結果、上半期の業績は収益面では前年同期を下回ったものの、預金・貸出金とも増

加をいたしました。

今年度は中期経営計画の最終年度となるため、計画の仕上げに取り組む必要があります。とりわけ、極めて厳しい低金利下にあっても、確実に収益を確保できる経営基盤の強化が重要な課題であります。そのためには、すべての役員一人ひとりが、信用組合の原点である相互扶助の精神に立ち返り、財務体質、人材育成およびコンプライアンス態勢の強化・充実に推進し、地域の皆さまから「選ばれるケンシン」を実現していかなければなりません。

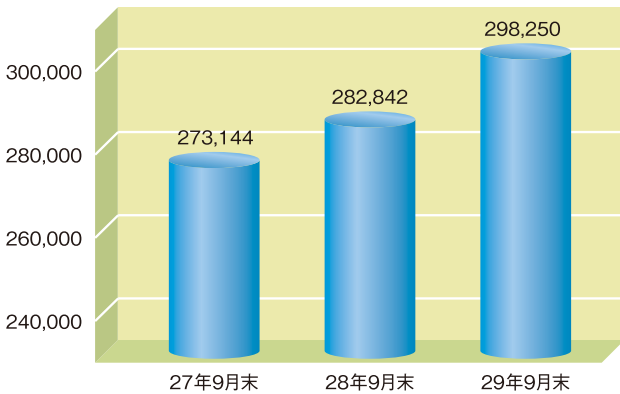
今後とも、当組合の存在意義を踏まえ、地域に存在感のある金融機関を目指してまいりますので、一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

理事長 青木 嘉孝

預金・貸出金の状況

●預金残高の推移

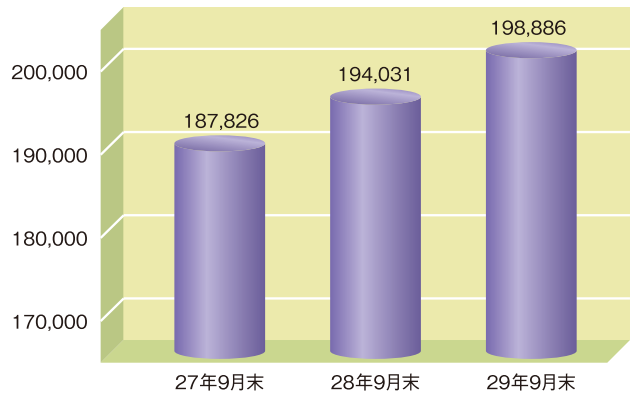
(単位:百万円)



サンフレッチェ広島応援定期預金等、お客さまにご満足いただける預金商品の提供に努め、平成29年9月末の預金残高は、前年同期比154億8百万円増加し、2,982億50百万円となりました。

●貸出金残高の推移

(単位:百万円)

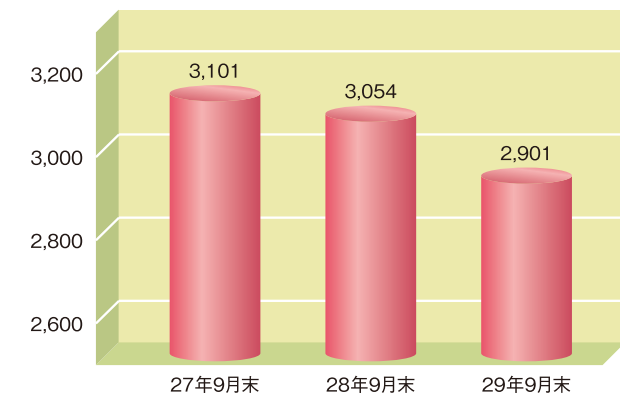


貸出金につきましては、事業性のご融資・個人向けローンなど積極的に対応し、平成29年9月末の貸出金残高は、前年同期比48億54百万円増加し、1,988億86百万円となりました。

収益の状況

●経常収益

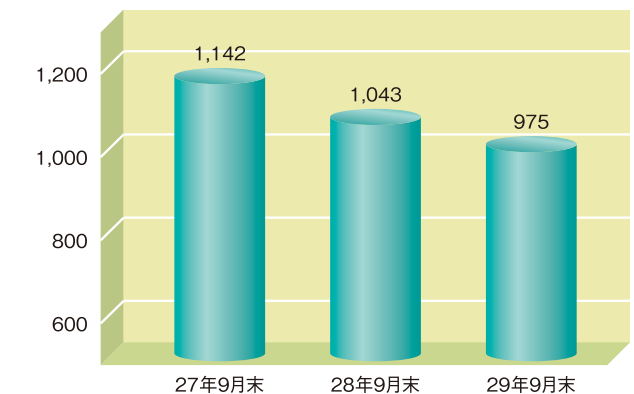
(単位:百万円)



平成29年度上半期(平成29年4月1日～平成29年9月30日)の売上をあらわす経常収益は、貸出金利息や余資運用収益の減少により、前年同期比1億53百万円減少し、29億1百万円となりました。

●コア業務純益

(単位:百万円)



コア業務純益は前年同期比68百万円減少の9億75百万円となりました。

経常利益は、前年同期比3億64百万円減少し、7億90百万円となりました。また、当期純利益は、前年同期比2億72百万円減少し、6億16百万円となりました。